

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-279741

(43) 公開日 平成6年(1994)10月4日

(51) Int.Cl.⁵

C 0 9 J 7/02

識別記号

J K P

J J Z

J L K

庁内整理番号

6904-4 J

6904-4 J

6904-4 J

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平5-92207

(22) 出願日 平成5年(1993)3月25日

(71) 出願人 591206315

株式会社静晃

静岡県浜松市白羽町104番地

(72) 発明者 伊熊 誠一郎

静岡県浜松市南浅田一丁目4番17号

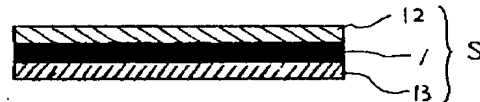
(74) 代理人 弁理士 野末 祐司

(54) 【発明の名称】 異質粘着両面シート、この異質粘着両面シートを使用した汚れ除去マット、この異質粘着両面シートを使用した物品固定シートおよびこの異質粘着両面シートを使用した物品支持シート

(57) 【要約】

【構成】 基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成したため、即ち、片面に接着剤層を形成したためこの接着剤によって適宜物体に接着固定できるとともに、他面の粘着層として反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成した異質粘着両面シートである。

【効果】 粘着材が被貼面に移行しにくいとともに水洗いして繰り返し使用することができるため、従来のように、取り替える必要がない結果、使い捨ても防ぐことができ、よって、経済性が向上することができるとともに粘着材の被貼面を汚染又は損傷することがない。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成したことを特徴とする異質粘着両面シート。

【請求項2】 マット用基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成し、前記接着剤層によって前記マット用基シート部材を適宜個所に固定するとともに前記ポリウレタン感圧粘着層によって汚れを吸着除去することを特徴とする汚れ除去マット。

【請求項3】 基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成し、前記接着剤層によって前記基シート部材を適宜個所に固定するとともに前記ポリウレタン感圧粘着層によって適宜物品を着脱可能に固定することを特徴とする物品固定シート。

【請求項4】 基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成し、前記接着剤層によって前記基シート部材を適宜個所に固定するとともに前記ポリウレタン感圧粘着層によって適宜物品を着脱可能に支持することを特徴とする物品支持シート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は異質粘着両面シート、この異質粘着両面シートを使用した汚れ除去マット、この異質粘着両面シートを使用した物品固定具およびこの異質粘着両面シートを使用した物品支持具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来における両面粘着シートにあっては、基シート部材の両面に接着剤層を設け、例えば、汚れ除去マットに应用する場合、その下面をボード等の台材に接着固定するとともにその上面を露出させ、この上面に靴を載せることによってその接着力により靴底の汚れを除去していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、かかる従来の両面粘着シートにあっては、基シート部材の両面に単に接着剤層を設けたに過ぎないため、応用するにあたって、反復使用ができない結果使い捨てにせざるを得ず、そのうえ、物品から取り剥がしにくいとともに当該物品を傷めたり汚したりしやすいという不都合を有した。

【0004】 この発明の課題はかかる不都合を解消することである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 前記課題を達成するために、この発明に係る異質粘着両面シートにおいては、基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成したものである。

【0006】 また、汚れ除去用マットにおいては、マット用基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成し、前記接着剤層によって前記マット用基シート部材を適宜個所に固定するとともに前記ポリウレタン感圧粘着層によって汚れを吸着除去するものである。

【0007】 また、物品固定シートにおいては、基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成し、前記接着剤層によって前記基シート部材を適宜個所に固定するとともに前記ポリウレタン感圧粘着層によって適宜物品を着脱可能に固定するものである。

【0008】 また、物品支持シートにおいては、基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成し、前記接着剤層によって前記基シート部材を適宜個所に固定するとともに前記ポリウレタン感圧粘着層によって適宜物品を着脱可能に支持するものである。

【0009】

【作用】 この発明に係る異質粘着両面シートは上記のように構成されているため、即ち、片面に接着剤層を形成したためこの接着剤によって適宜物体に接着固定できるとともに、他面の粘着層として反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成しているため、粘着材が被貼面に移行しにくいとともに水洗いして繰り返し使用することができるものである。

【0010】 更に、前記ポリウレタン感圧粘着材の粘着強度を変えることによって貼る場所に応じての作業軽減と目的を一層向上させることができる。

【0011】 また、この発明に係る汚れ除去用マットは上記のように構成されているため、即ち、片面に接着剤層を形成したためこの接着剤によって適宜物体に接着固定できるとともに、他面の粘着層として反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成しているため、水洗いして繰り返し使用することができるものである。

【0012】 また、この発明に係る物品固定シートは上記のように構成されているため、即ち、片面に接着剤層を形成したためこの接着剤によって適宜物体に接着固定できるとともに、他面の粘着層として反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成しているた

3

め、粘着材が被貼面に移行しにくいとともにより繰り返し使用することができるものである。

【0013】また、この発明に係る物品支持シートは上記のように構成されているため、即ち、片面に接着剤層を形成したためこの接着剤によって適宜物体に接着固定できるとともに、他面の粘着層として反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成しているため、粘着材が被貼面に移行しにくいとともにより繰り返し使用することができるものである。

【0014】

【実施例】

【0015】図1において、Sはこの発明に係る異質粘着両面シートであり、1はその基シート部材である。この基シート部材1は軟質樹脂、紙、織物、不織布等如何なる材料であってもよい。

【0015】12は反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層であり、前記基シート部材1の表面(片面)に形成されている。この粘着層2はポリウレタン感圧粘着材からなり、この粘着材はポリオールと有機ジイソシアネートとの反応により製造されるものである。更に、具体的にいうと、平均官能基数が2乃至2.6の一種または2種以上のポリオール混合物を過剰の有機ジイソシアネートと反応させて得られる末端イソシアネート基を有するプレポリマーを、平均官能基数が2以上であり、かつプレポリマーの成分であるポリオール混合物の平均官能基数との和が4を越え且つ5より大きくない一種または2種以上のポリオール混合物をNCO/OH当量比が0.65~1.15で反応させて得たポリウレタンが好適である。なお、反応の程度を調節することによって当該粘着層2の粘着の程度を調節することができる。

【0016】13は接着層であり、前記基シート部材1の裏面(他面)に形成されている。この接着層13は通常の接着剤(原則として反復使用不可能なもの)を塗布することによって形成される。

【0017】次に、図2および図3は、この発明に係る汚れ除去マットMの実施例を示したものである。この汚れ除去マットMは基部材2の表面に前記異質粘着両面シートSをその接着層13によって接着固定したものである。そして、ポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層12によって、靴3における底面の汚れ、空気中の埃等を吸着除去する。除去マットMが埃等によって汚れた場合には水洗してこの埃等を除去し、乾燥すれば再度使用することができる。この場合、本願発明の「マット用基シート部材2」は前記異質粘着両面シートSの基シート部材1に相当する。

【0018】次に、図4および図5は、この発明に係る物品固定シートAの実施例を示したものである。この物品固定シートAは、電話器本体4の送話部載置凹部(この発明の「適宜個所」に相当する)41に前記異質粘着両

4

面シートSをその接着層13によって接着固定し、そのポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層12によって、消毒用又は消臭用パーツ(この発明の「物品」に相当する)5を着脱可能に固定する。粘着層12は略永久的に粘着力を維持できるため、消毒用又は消臭用パーツ5の取り換えは自由にできる。

【0019】また、図6及び図7はこの物品固定シートAを卓球用ラケット6におけるラバー61の接着固定に使用したものである。

10 【0020】次に、図8はこの発明に係る物品支持シートBの実施例を示したものである。この物品支持シートBは、机7の表面(この発明の「適宜個所」に相当する)71に前記異質粘着両面シートSをその接着層13によって接着固定し、そして、そのポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層12にコップ(この発明の「物品」に相当する)8等を着脱可能に固定することによって一次的に支持する。粘着層12は略永久的に粘着力を維持できるため、机7の表面71は取り換え自由の状態では物品を支持することができる。

20 【0021】

【発明の効果】この発明に係る異質粘着両面シートは、基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成したため、即ち、片面に接着剤層を形成したためこの接着剤によって適宜物体に接着固定できるとともに、他面の粘着層として反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成しているため、粘着材が被貼面に移行しにくいとともにより水洗いして繰り返し使用することができるものである。

30 【0022】よって、この異質粘着両面シートを使用すれば、従来のように、取り替える必要がないため、使い捨てでも防ぐことができ、よって、経済性が向上することができるとともに粘着材の被貼面を汚染又は損傷することがないものである。

【0023】更に、前記ポリウレタン感圧粘着材の粘着強度を変えることによって貼る場所に応じての作業軽減と目的を一層向上させることができる。

40 【0024】また、この発明に係る汚れ除去用マットは、マット用基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成し、前記接着剤層によって前記マット用基シート部材を適宜個所に固定するとともに前記ポリウレタン感圧粘着層によって汚れを吸着除去するものであるため、即ち、片面に接着剤層を形成したためこの接着剤によって適宜物体に接着固定できるとともに、他面の粘着層として反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成しているため、水洗いして繰り返し使用することができるものである。

50 【0025】よって、この汚れ除去用マットを使用すれ

(4)

特開平6-279741

5

ば、従来と異なり、取り替える必要がないため、使い捨てを防ぐことができ、よって、経済性が向上する。

【0026】また、この発明に係る物品固定シートは、基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成し、前記接着剤層によって前記基シート部材を適宜個所に固定するとともに前記ポリウレタン感圧粘着層によって適宜物品を着脱可能に固定するものであるため、即ち、片面に接着剤層を形成したためこの接着剤によって適宜物体に接着固定できるとともに、他面の粘着層として反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成しているため、粘着材が被貼面に移行しにくいとともに繰り返し使用することができるものである。

【0027】よって、この物品固定シートを使用すれば、従来と異なり、取り替える必要がないため、使い捨てを防ぐことができ、よって、経済性が向上する。

【0028】また、この発明に係る物品支持シートは、基シート部材の片面に反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成するとともにこの基シート部材の他面に接着剤層を形成し、前記接着剤層によって前記基シート部材を適宜個所に固定するとともに前記ポリウレタン感圧粘着層によって適宜物品を着脱可能に支持するものであるため、即ち、片面に接着剤層を形成したためこの接着剤によって適宜物体に接着固定できるとともに、他面の粘着層として反復使用可能なポリウレタン感圧粘着材からなる粘着層を形成しているため、粘着材が被貼面に移行しにくいとともに繰り返し使用することができるものである。

【0029】よって、この物品支持シートを使用すれば、従来と異なり、取り替える必要がないため、使い捨てを防ぐことができ、よって、経済性が向上する。

てを防ぐことができ、よって、経済性が向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係る異質粘着両面シートの断面図である。

【図2】この発明に係る汚れ除去マットの斜視図である。

【図3】図2におけるIII-III線拡大断面図である。

【図4】この発明に係る物品固定シートの説明図である。

【図5】図4におけるV-V線拡大断面図である。

【図6】この発明に係る物品固定シートの他の実施例の説明図である。

【図7】図6におけるVII-VII線拡大断面図である。

【図8】この発明に係る物品支持シートの断面図である。

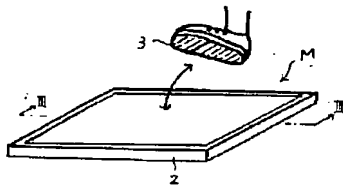
【符号の説明】

- A … 物品固定シート
- B … 物品支持シート
- M … 汚れ除去マット
- S … 異質粘着両面シート
- 1 … 基シート部材
- 12 … 接着層
- 13 … 粘着層
- 2 … マット用基シート部材
- 41 … 電話器本体の送話部載置凹部（適宜個所）
- 6 … ラケット（適宜個所）
- 5 … 消毒用又は消臭用パーツ（物品）
- 61 … ラケット用ラバー
- 71 … 机の表面（適宜個所）
- 8 … コップ（物品）

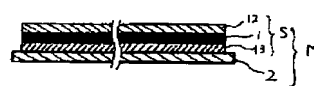
【図1】



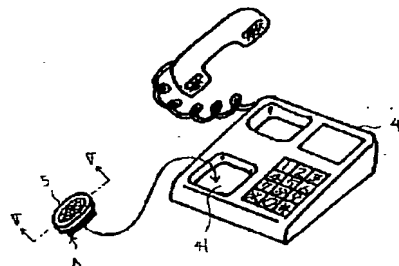
【図2】



【図3】



【図4】



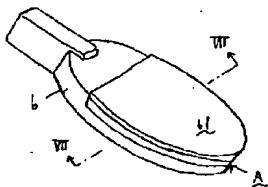
【図5】



(5)

特開平6-279741

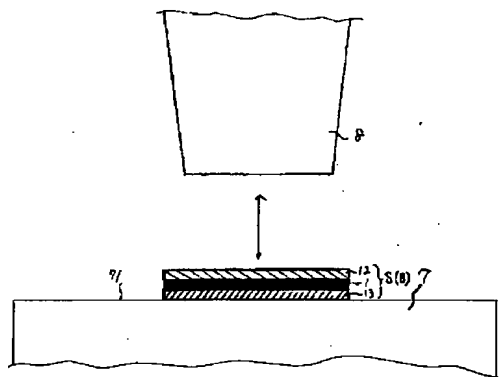
【図6】



【図7】



【図8】



THIS PAGE BLANK (USPTO)